

オピニオン

提言

がんの情報探しを支援

談員が情報探しをサポートし（がん経験者）の方が、地
域の保健指導員の研修の場で、自らの闘病経験を語つて
勉強会、出前講座、料理教室などを通して、健康寿命を
延ばす予防の取り組み、そして、病気になつても自分らしく生きられる地域づくりにも取り組んでいます。

一方で生産年齢人口（15～64歳）は半分になる。元気な高
齢者は「支援する側」に回らなければ、社会が持ちこたえ
られない。これまで「支援を受ける側」と見なされてきた
人も、できるとしたら、何か役割を担つていくことが望まれる。

「自身や周囲の人の生き方」を輝かせたい」「自分たちの地域を豊かにしたい」と願う多職種・多世代の人々がそれぞれの力を出し合つてつながり、その人らしい生を支え、また自らも生をまつとうとしている。こうした住民エンパワーメントの取り組みが各地に広がっていくことを心から願っています。

識しながら、最期まで幸せに人生を生きたいと多くの人が願っている。

「人づくり」「役づくり」であり、私たちの活動もその一翼を担つていると考えています。こうした活動が高く評価され、このたび、慶応大先端生命科学研究所「からだ館がん情報ステーション」は、日

慶応大先端生命科学研究所「からだ館がん情報ステーション」を、鶴岡市の鶴岡タウンキヤンパスに開設して丸6年が経過した。国民の2人に1人ががんにかかる現在、地域住民の誰もががんについて、病院やがん情報サービスなどを借り、がんに関する情報を得て、闘病経験を語つて、自身が乗り越えてきた経験を地域に還元している。このことは、末期がんの父をみつ時に痛感していた。からだ館は、キヤンパスの図書館の一角を借り、がんに関する書籍やパンフレット、闘病記などを数多く取りそろえ、相

慶応大先端生命科学研究所
「からだ館がん情報ステーション」
プロジェクトリーダー
あきやま 美紀



患者サロンも開催 ■ 高齢者も支える側に

大切な意思決定をするには情報サポートが不可欠ということは、末期がんの父をみつ時に痛感していた。からだ館は、キヤンパスの図書館の一角を借り、がんに関する書籍やパンフレット、闘病記などを数多く取りそろえ、相

取り組んでいます。市民の皆さんのがんに対する現状、地域住民の誰もががんについて、病院やがん情報サービスなどを借り、がんに関する情報を得て、闘病経験を語つて、自身が乗り越えてきた経験を地域に還元している。このことは、末期がんの父をみつ時に痛感していた。からだ館は、キヤンパスの図書館の一角を借り、がんに関する書籍やパンフレット、闘病記などを数多く取りそろえ、相

どんなに医療が発達しても人の命にはいつか「終わり」が来る。やがて訪れる死を意が「自分」として具体的に行動を起こす。その鍵は、「場づくり」である。その鍵は、「場づくり」であり、私たちの活動もその一翼を担つていると考えています。こうした活動が高く評価され、このたび、慶応大先端生命科学研究所「からだ館がん情報ステーション」は、日

(東京都在住)

刈屋ナシの限定ワイン

酒田市内の酒販店8店舗でつくる「庄内酒彩俱楽部」(池田吉伸会長)が同市刈屋地区特産のナシを原料に仕込んだ生ワイン「梨のデアノイエ」写真が完成した。4年目を迎える今年は12日から500本を限定発売。販売前に同俱楽部メンバーのオードヴィ庄内(酒田市)で10日、生産者関係者を招いた試飲会を開き、出来栄えを確かめた。生産者組織の刈屋梨出荷組合と今年5月に契約を結び、和ナシ「豊水」と洋ナシ「ラ・フランス」を計1・3トントン購入。酒造会社のオードヴィ庄内で仕込みを行い、和ナシと洋ナシを6対4の比率でブレンドする。完成したばかりの生ワインを口に含み、「ラ・フランス」のなめらかさが良く出てきた。完成したばかりの生ワインを口に含み、「ラ・フランス」が10日、東京都千代田区の東京国際フォーラム

情報センサー

◆15日にエコ住宅セミナー

NPO法人新木造住宅技術研究協議会山形支部(三浦和浩支部長)は15日午後2時から、山形市の山形国際交流プラザでエコ住宅セミナーを開催する。室蘭工業大の鎌田紀彦教授が講師を務め、進化する高断熱住宅や最新のエコ住宅、低燃費の家造りについて解説する。参加は無料。定員は100人で先着順。問い合わせは同協議会(0120)146661。

◆合格祈願のパスタ

日本製粉は受験生を応援する期間限定品「オーマイパスタ」=写真=を発売した。試



験に合格して志望校に入るのを祈願して、人気キャラクター「ハローキティ」をもじった商品名とし、パッケージに絵馬のデザインを採用。スパゲティとマカロニがあり、希望小売価格はそれぞれ357円、163円。問い合わせは無料のお客様センター(0120)184157。

◆金沢感じる魚介スープ

エースコックはカニエキス入りのスープ「ことりっぷ金沢」=写真=を発売した。旅行ガイド「ことりっぷ」との合作で、隠し味に石川県伝統の魚醤(ぎょしょう)を用いて魚介の風味を強めた。希望小売価格は158円。問い合わせはお客様相談室06(6338)2745。



あすから発売

ノイエ」とワイン「梨のミューズ」の計950ドッ分を製造している。

「デアノイエ」はドイツ語で新酒を意味し、アルコール度数7%。追熟寸前の「ラ・フランス」を搾り、酸味を利かせた。微発泡のスパークリングワインで、さわやかな口当たりが特徴のやや甘口。価格は720円入り1400円(消費税込み)。「ミューズ」は720円入り1300円(同)で来春ころの販売開始を予定。

個性をアピール 東京でニット展

展示している。

国内の主要ニットメーカー

など来年の秋冬物を中心の商品、テキスタイルなどを並

県内から7社

やセーター、カーディガン

日本貿易振興機構(ジェトロ)の中村富安理事=写真=は10日、山形市の山形メディアタワーを訪れ、寒河江浩二山形新聞社長、本間和夫山形放送社長と懇談。東北での海外展開の拡大に向け、企業への個別支援を強化する考えを示すなど次のように語った。

た。一、東北で海外を目指す企業の裾野拡大に向け個別支援に力を入れている。公募企業に対し、商社やメーカーのOBが付きつきりで支援しており、輸出に関し山形では5社の取り組みが進行中だ。新興国進出も工場や店舗の開設までバツアップしており、山形は現在3社が対象。世界的な日食ブームから飲食業はチ

た。

なく本物をなく本物を

ヤンスだ。
り山形の郷のではない
ス分野で、
ツ・ザクセ

企業の交流
取り組んで
ら本格的な
る。売買だ
いる。本年
組合などに
スの開拓で、
ツ・ザクセ



ビジ
れる
農産
なく
の強
掛け
る。

国際会議 商談会で 東

国際会議
商談会で
東



組合連合会などに

べ、ブースを構成している。
風合いやシルエット、色使いなどで個性を打ち出し、
それぞれにモードを提案。
百貨店、小売関係者、デザ
イン者らが足を運び、商談していた。
日本ニット工業



国際会議 商談会で 東